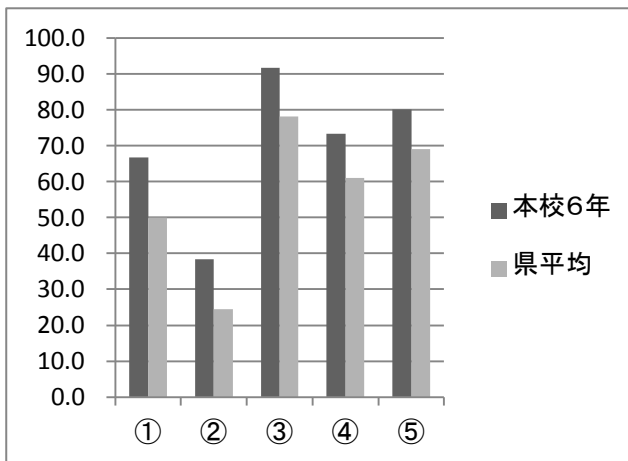


【県と比較して数値が特に高かった項目】

調査の項目	
①	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。
②	将来、理科や科学技術に関係する職業につきたい。
③	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。
④	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う。
⑤	自分で計画を立てて勉強をしている。

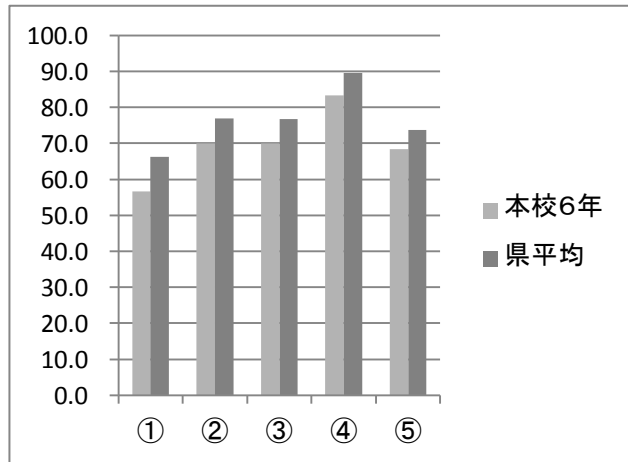


【分析と取組】

○地域や社会のことについての関心が、県よりも高い。  
 ○算数科への興味関心意欲が県よりも高いが、結果につながっていない。引き続き、補充問題を解かせる等、個に応じたきめ細やかな指導をしていく。  
 ○自分の考えを相手意識を持って伝えたり、伝え方を工夫したりしながら発表する態度が育ってきている。引き続き、指導をしていく。  
 ○自分で計画を立てて勉強する習慣が少しずつ身についてきている。一日あたりの学習時間も、平日は1時間以上学習している割合が県よりも高い。しかし、なかなか結果には結びついていないことから、今後は、実際の児童の勉強への取り組み方をアセスメントし、より効果的な家庭学習について指導する機会を設ける。

【県と比較して数値が特に低かった項目】

調査の項目	
①	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。
②	解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。
③	国語B(40分)のテスト時間が余った、ちょうどよかった。
④	理科の授業の内容はよくわかる。
⑤	予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習をしている。



【分析と取組】

○地域でのボランティア活動について周知するとともに、活動への参加について促していく。  
 ○記述式の問題については苦手意識が強い。自分の考えを箇条書きで書かせ、それをうまくつなぎながら筋道立った文章にしていく等の手立てを講じていく。  
 ○理科の授業については、めあて→予想→実験→結果→考察→まとめ→ふりかえりの指導過程を基本として、根拠を持たせて予想を立てさせる等、より主体的な学習活動を仕組む。  
 ○予習・復習については、教科書を用いて、その日の学習を振り返る習慣をつけさせる。

【その他、顕著であった内容】

・「将来の夢や目標を持っている」と答えている児童の割合が、県よりも高い。  
 ・「地域の行事に参加している」と答えている児童の割合が、県よりも高い。また、「自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある」と答えている児童の割合が、県よりも高い。地区の特色を生かした活動ができています。  
 ・理数系の教科書については、将来役に立つ等の有用感を感じている。興味関心意欲が比較的高い点を生かして、今後の学習につなげていく。  
 ・毎日の起床・就寝時間は一定であることから、生活習慣が身につけていることが分かる。今後は、具体的に望ましい就寝時刻等について、細やかに指導していく必要がある。  
 ・「学校のきまりを守っている」と答えた児童の割合が、県よりも低い。きまりを守ることに、具体的事例を示し、意見交換をする等、大切さをより実感できる実践に取り組んでいく。